東　経　連　情　報

２０２４年７月２３日

東経連カーボンニュートラル推進活動「ＺＥＢ見学セミナー」の開催について（取材のご案内）

一般社団法人東北経済連合会（代表：増子次郎）は、８月２日（金）に宮城県富谷市において「ＺＥＢ見学セミナー」を開催いたします。

当会では、2050 年カーボンニュートラル実現に向けた国の政策を踏まえ、東北・新潟の企業・団体等による積極的な活動を応援するため、「実践」に向けた推進活動を展開しています。

今回は鹿島建設株式会社様にご協力いただき、建築物における省エネを推進していく観点で現在注目されている「ゼロ・エネルギー・ビル（ＺＥＢ）」※についてのセミナーを開催いたします。当日は、現在建設中のＺＥＢ認証取得予定の建築物の現場見学会も併せて実施いたします。

※別紙に用語解説を記載しています。

つきましては、是非ご取材くださいますようご案内申し上げます。なお、ご取材いただける際は、下記照会先までご連絡をお願いいたします。

なお、現場見学会は一部写真撮影を制限させていただく箇所もございます。あらかじめご了承願います。

記

１．日　時：　２０２４年８月２日（金）１４：００～１６：００
２．会　場：「（仮称）鹿島富谷物流センター」現場事務所
　　（〒981-3341 宮城県富谷市成田９丁目５２－１）
３．内　容：
　(1) 開会挨拶　　一般社団法人東北経済連合会　副会長　宮本 保彦
　(2) セミナーⅠ
　　情報提供：経済産業省 東北経済産業局、環境省 東北地方環境事務所
　(3) セミナーⅡ
　　演 題 ：（仮題）「ＺＥＢの意義と実践に向けて」
　　講 師 ：鹿島建設株式会社　建設設計本部
　(4) 現場見学会
　(5) 質疑応答

以　上

【照会先】
（一社）東北経済連合会　経済政策Ｇ・佐藤　ＴＥＬ：０２２－３９７－６６９２

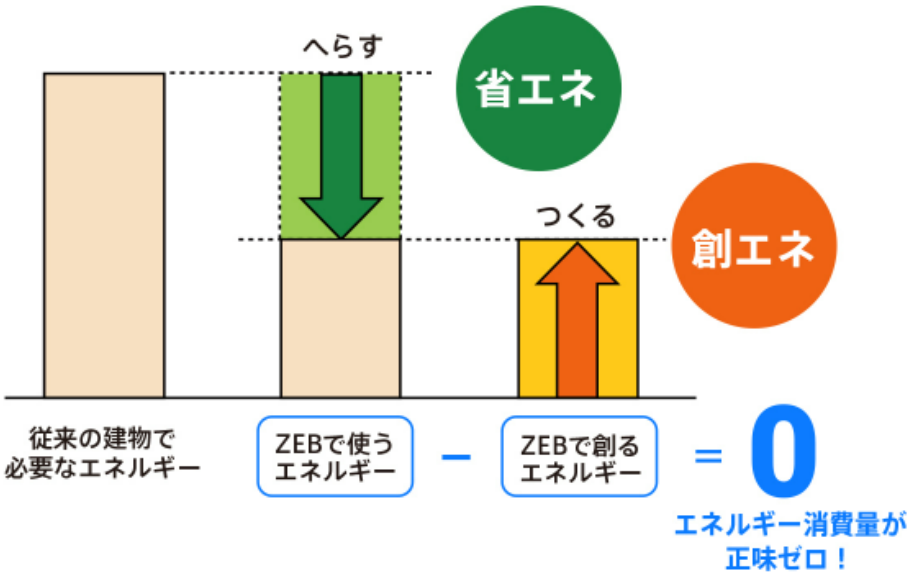
～別紙～

【用語解説】

「Zero Energy Building（ZEB）」（環境省ポータルサイトより）

Zero Energy Building（ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。エネルギー消費量を省エネによって減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることができます。

2021 年 10 月に閣議決定された地球温暖化対策計画では、2030 年度に温室効果ガス排出量を 2013 年度比 46%削減するという中期目標と部門別内訳が示されており、業務部門においてはエネルギー起源 CO2 排出量を同年度比 51％削減するといった家庭部門の 66%に次いで厳しい目標が設定されています。そして、建築物については「2050 年のカーボンニュートラル実現の姿を見据えつつ、2030 年に目指すべき建築物の姿としては、現在、技術的かつ経済的に利用可能な技術を最大限活用し、新築される建築物については ZEB 基準の水準の省エネルギー性能が確保されていることを目指す」ことが掲げられています。



「（仮称）鹿島富谷物流センター」（鹿島建設㈱プレスリリースより）

宮城県富谷市に建設中の鹿島建設㈱によるマルチテナント型物流施設。カーボンニュートラルに向けた環境配慮への取組みとして、LED 照明や高性能 Low―E 複層ガラスを採用したほか、PPA サービス※を活用した太陽光発電設備により、ZEB 認証の取得を予定している。

※PPA（Power Purchase Agreement）:発電事業者が設置した太陽光発電設備等で発電された再生可能エネルギーを長期・固定単価で利用可能な電力購入契約